

## 環境思想・教育研究 2008年 第2号

### 目次

巻頭言 豊富化・多様化する「農」の世界 —「共生」視点からみた日本農業の課題 矢口 芳生

### 特集〈農〉と環境をめぐる思想の問題

脱自然化する食と農の真似事 松永 澄夫  
生の啓蒙と環境保全—グルントヴィの思想的射程 小池 直人  
エコ社会主義の視点から見た日本の農業環境政策 丸山 正次  
ESD・環境教育実践としての「食農体験学習」の思想的考察 降旗 信一  
「農業見直し論」の可能性—農本主義の理解を手懸りに 穴見 慎一

### 一般研究論文

環境問題における人間中心主義・自然の支配・技術のあり方 島崎 隆  
—グルントマン『マルクス主義とエコロジー』を読む  
韓国の社会意識と環境思想 水野 邦彦  
環境倫理における相対主義克服のための一試論—目的論的自然観の再考 熊坂 元大  
動物言語と人間言語の断絶と連続性 武田 一博  
—チョムスキー派言語学とP・リーバーマンの所説に寄せて

The Arts and the Radical Enlightenment:  
Gaining Liberty to Save the Planet Arran Gare  
Reform Liberalism and a Transcultural Ethics  
in the Global Age In-Suk Cha  
Technological Culture and Its Value Orientation:  
Case study: Modernization in the Japanese  
Agricultural Sector Fumihiko Satofuka  
Beyond Anthropocentrism and Non-anthropocentrism  
in Environmental Ethics Makoto Takada  
Environmental Ethics and Reverberations of  
Modern Philosophy: Shuji Ozeki  
Background to the Confrontation between  
Anthropocentrism and Physiocentrism

### 研究ノート

環境思想における新たな視座としての「物語」 布施 元  
中国における「和」の思想的探求 于 存芳  
内モンゴル自治区牧畜地域の土地利用と維持管理に関する研究 阿拉坦沙  
生活世界における感性の視点—人間らしさの回復のために 東方 沙由理

### 研究調査報告

韓国のプルム学校の実践から学ぶ 山科 三郎  
—洪淳明氏の人間と自然との関係の思想を中心に  
ミュージアム・エデュケーターとその実践 尾関 さやか  
—「星の語り部」プラネタリウム活動を通じて

### 翻訳

共同体のマイクロ生態学 ジョン・クラーク(上柿, 尾関)  
環境的に持続可能な文明の創造—エコ・マルクス主義的パースペクティヴ アラン・ゲイ(布施, 尾関)